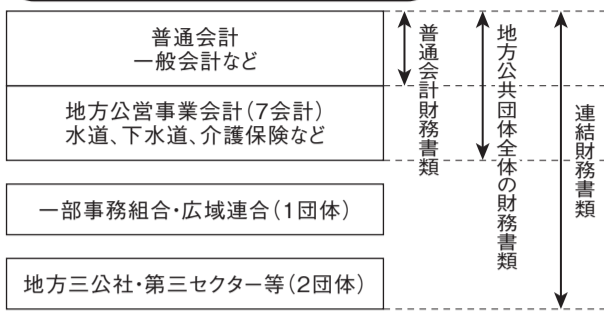


連結財務書類4表とは？



財務書類は、民間企業の考え方を基に作成した市の決算書です。
 財務書類にはいくつかの作成方法がありますが、八潮市では「総務省方式改訂モデル」という作成方法に基づいています。
 財務書類は左図のように3つに分けられます。連結財務書類では市だけでなく出資法人などの関係団体も含まれます。
 財務書類4表とは貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書を指します。
 ※詳しい財務書類は、市ホームページで公表しています。

市では、新地方公会計制度における総務省方式改訂モデルによる連結財務書類4表を作成しました。

平成22年度決算による 連結財務書類をお知らせします

貸借対照表とは？

貸借対照表は、どれだけの資産や現金があるかを「借方」に、その資産がどのような財源で構成されているのかを「貸方」に示したものです。

平成22年度連結貸借対照表

単位：百万円

借方		貸方	
[資産の部]	金額	[負債の部]	金額
1.公共資産	161,059	1.固定負債	65,355
(1)有形固定資産	160,162	(1)地方債等	56,597
(2)売却可能資産	0	(2)退職手当引当金	5,887
(3)無形固定資産	897	(3)その他	2,871
2.投資等	15,417	2.流動負債	7,634
(1)投資及び出資金	3,077	(1)翌年度償還予定地方債等	5,638
(2)貸付金	5,780	(2)その他	1,996
(3)基金等	4,558	負債合計	72,989
(4)その他	2,002	[純資産の部]	
3.流動資産	7,186	1.公共資産等整備国庫補助金等	18,362
(1)資金	3,968	2.公共資産等整備一般財源等	97,789
(2)未収金	2,057	3.その他一般財源等	△6,672
(3)その他	1,161	4.資産評価差額	1,194
資産合計	183,662	純資産合計	110,673
		負債及び純資産合計	183,662

道路や公園、学校など
 基金(貯金)など
 手持ちの現金など
 行政サービスを提供するために必要な資産

連結貸借対照表の比較

※()は市民1人当たりの額

【平成21年度】	
資産	負債
1,833.2億円 (222.3万円)	740.2億円 (89.8万円)
	純資産
	1,093億円 (132.5万円)

【平成22年度】	
資産	負債
1,836.6億円 (221.7万円)	729.9億円 (88.1万円)
	純資産
	1,106.7億円 (133.6万円)

この1年間で負債を減らして資産を増やしており、将来の支払いを減らしながら市民の皆さんに行政サービスを提供するための「もの」を増やしています。

将来世代が負担する金額

地方債残高の推移(普通会計)

負債の大部分を占める地方債残高は、元金償還が進んだことなどに伴い前年度より減少しました。

平成21年度	平成22年度
282.1億円	280.9億円

これまでの世代が既に負担した金額

平成22年度 連結行政コスト計算書

単位:百万円

区分	金額
経常費用	37,830
1.人にかかるコスト	6,224
(1)人件費	5,277
(2)退職手当引当金繰入	639
(3)賞与引当金繰入額	308
2.物にかかるコスト	10,386
(1)物件費	5,075
(2)減価償却費	547
(3)維持補修費	4,764
3.移転支出的なコスト	18,803
(1)他会計への支出	28
(2)社会保障給付	14,300
(3)その他	4,475
4.その他のコスト	2,417
(1)公債費(利払)	1,283
(2)その他	1,134
経常収益	12,095
保険料・負担金等	
純経常行政コスト (経常費用-経常収益)	25,735

行政コスト計算書とは？

行政コスト計算書は、平成22年度に八潮市と関係団体がサービスを提供するために費やしたヒト・モノ・カネの状況を示しています。経常収益には公営住宅の家賃などサービスの対価だけが計上され、税金は計上されません。
 ○人にかかるコスト：職員の給料、平成22年度に増えた退職金の金額など
 ○物にかかるコスト：消耗品の購入費、臨時職員の人件費や委託料など
 ○移転支出的なコスト：福祉関係の給付費など

純資産変動計算書とは？

純資産変動計算書は、1年間に純資産がどのように増減したかを示しています。

平成22年度 連結純資産変動計算書

単位:百万円

区分	金額
期首純資産残高(A)	109,301
1.純経常行政コスト	△25,735
2.一般財源等	
地方税	14,451
地方交付税	139
その他行政コスト充当財源	2,575
3.補助金等収入	9,746
4.臨時損益	△54
5.資産評価替・無償受入	△4
6.その他	254
1~6までの計(B)	1,372
期末純資産残高(A+B)	110,673

資金収支計算書とは？

資金収支計算書は、現金の流れを示しています。

平成22年度 連結資金収支計算書

単位:百万円

区分	金額
1.経常的収支	5,596
2.公共資産整備収支	△223
3.投資・財務的収支	△5,277
当期収支(1+2+3)	96
期首資金残高	3,872
経費負担割合変更に伴う差額	0
期末資金残高	3,968

問財政課 ☎306

連結対象

- ・普通会計
- ・公営事業会計
 - 国民健康保険
 - 公共下水道
 - 老人保健
 - 区画整理事業
 - 介護保険
 - 後期高齢者医療
 - 上水道
- ・一部事務組合
 - 東埼玉資源環境組合
- ・地方公社
 - 八潮市土地開発公社
- ・第三セクター
 - 財団法人やしお生涯学習まちづくり財団